

令和7年度一般選抜小論文【模範解答】

問1 下線部1)について、「矛盾した働きかけ」とは、何と何が矛盾すると筆者は言っているのか、文中の語句を用いて50字以内で書きなさい。

本人の自立志向をそれなりに尊重しながら育てるということと、丁寧に手間暇かけて育てるということ。(47字)

問2 下線部2)について、「精神的自立」の重要な要素を、文中の語句を用いて3つ書きなさい。

- ・自分の欲求のコントロール
- ・自分の行いに対する責任の意識
- ・人間関係の引き受け方の成熟度

問3 下線部3)について、著者は何が重要だと述べているのか、文中の語句を用いて50字以内で書きなさい。

組織などの中できちんとした態度をとり、他者と折り合いをつけながら、つながりを作っていけること。(47字)

問4 下線部4)について、「学校にいる間だけは社会の辛い波風にはさらしたくない」ということが、なぜ「無責任な態度」になるのか、理由を文中の語句を用いて150字以内で書きなさい。

人間には限界や挫折が必ずやってくるので、それを乗り越えるための心構えを少しずつ養っておく必要があるのに、学校ではそれを教えず、競争や評価を見えにくくしている。そのため、子どもは競争がきつい評価社会に投げ出されたとき、挫折や限界にいきなりぶつかり、ものすごいギャップを感じてしまうから。(142文字)

問5 下線部5)「苦味」と「うま味」について、筆者はそれぞれ何をたとえているのか、文中の語句を用いて書きなさい。

- ・ 苦 味：挫折したりする経験を通して、自分の限界を思い知らされることである。
- ・ うま味：難しい仕事をやりとげた喜びや自分に向かないと思った仕事を通じて、知らない自分に出会ったりすることである。

問6 下線部6)について、例示されたものに類似したあなたの経験を書きなさい。

《採点基準》

- ①「苦味」と「うま味」についてそれぞれ記述していること
- ②①について、自分自身の体験を踏まえて具体的かつ論理的に記述していること